

TAEKOのきまぐれ日記

2013.01.02

あけまして、おめでとうございます



いつもは実家のある松本で迎えるお正月ですが、珍しく今年は東京でむかえました。一日、近くの神社にお参りに、近くの歩道を歩いていて気がついたのですが、横を通り過ぎる車のまぶしい事。

ぴかぴかなのです。東京のドライバーは新車しか乗らないのか！
とってしまうほど、例外なくぴかぴかの車ばかり。
この光景を外国人に紹介したい衝動にかられるのは私だけでしょうか。

日本人の新年、正月にかける意気込みが車磨きにもあらわれている、というものです。
新しい年を、前の年の古い空気とは一線を画し、真新しく清々しい気持ちではじめようという、
決意が通り過ぎる車一台一台にみなぎっている、と言ったら言い過ぎでしょうか。

学生時代に住んだアメリカのシカゴは、雪深いところでした。
1980年代、街を走る車の下部はさびたようになっていたことを思い出します。
凍った雪を溶かすために道路に大量の塩をまくので、道路の雪に触れる部分がさびてしまうのです。
車のことを考えれば、とても乱暴なやり方なのですが、これも車に対する考え方の違いかもしれません。
車は人間に使えるために生まれた一道具という位置づけでしょうか。

それにしても、ほとんど一台の例外もなく、垢を落とした車が、ツヤツヤと新年の新しい日光をあびながら
いきかう道路は本当に気持ちがよいものです。

法律によって決められた訳でもなく、洗車しないで走っていると誰かからとがめられる訳でもない状況で、
律儀に新年のために車を清める日本人を、“クール”だと感じたお正月でした。

